

## 第3次ちがさき自転車プランにおける評価指標について(案)

### 1 進捗状況の確認方法

- 5年後に中間評価、10年後(計画期間の満了時)に事後評価を実施し、プランの進捗状況を確認します。
- 将来の都市像、まちづくりの方向性に対して、進捗状況を判断するために指標を設定します。
- 評価時は設定した指標について、市民アンケート結果等のデータ(定量的な評価)や取り組み内容(定性的な評価)をもとに、社会情勢の変化を考慮しながら評価を行います。

### 2 評価指標

#### (1) 総合指標

##### 【将来の都市像】

自転車健康都市～いつまでも自転車に乗って楽しみ続けられるまち 茅ヶ崎～

##### 【指標】

- ・「自転車健康都市」の実現に向けて、市民・事業者・市がそれぞれの立場で取り組みを進めている。
- ・市内で自転車を利用しやすくなったと実感する市民が増加している。
- ・市内で自転車を利用する市民が増加している。

#### (2) まちづくりの方向性ごとの指標

##### ①おもいやりの心づくり

##### 【目指す姿】

自転車利用者が軽車両の運転者として自覚をもち自発的に交通ルールを守っています。そして、“おもいやり”の心を育むことで、歩行者等、自転車、自動車が限られた空間を譲り合っています。その結果、自転車関連の交通事故が減少し、歩行者等、自転車利用者、自動車ドライバーなど誰もが安全・安心、快適に移動できる生活環境になっています。

##### 【指標】

- ・多様な市民が自転車のルールやマナーを学ぶ機会が提供されている。
- ・自転車利用者が事故のリスクを知ることによって事故を未然に防ぎ、自転車関連の交通事故が減少している。
- ・歩行者・自転車・自動車等が、道路という公共空間を共に使うという自覚を持ち、お互いに配慮し、交通ルールを守って利用している。

## ②風を感じる空間づくり

### 【目指す姿】

自転車専用レーンの整備や法定外路面標示など、本市の道路事情を踏まえた走行環境、自転車走行空間の整備や市民の駐輪場の利用状況などを踏まえた駐輪場が整備されることで、歩行者等、自転車利用者が茅ヶ崎の風を感じながら、誰もが安全・安心で、ストレスを感じることなく移動できる環境になっています。

### 【指標】

- ・自転車走行空間や駐輪場など自転車を使いやすい環境の整備が進められている。
- ・自転車での移動について、走りやすいと感じる市民が増加している。
- ・駐輪場や駐輪スペースが適切に利用されていて、路上駐輪が減少している。

## ③暮らしにとけこむ仕組みづくり

### 【目指す姿】

市民が自転車の利便性やメリットなどの魅力を知ることで、通学、通勤、買い物など日々の生活の中で自転車を利用する機会が増えています。シェアサイクルの活用や公共交通との連携を図ることで、日々の暮らしの中で自転車を利用しやすい仕組みが構築されています。

### 【指標】

- ・自転車の魅力や活用方法が発信されていて、自転車の利用を促進する取組が行われている。
- ・おでかけの際に移動する方法として、自転車を選ぶ市民が増加している。
- ・通勤や業務に自転車を活用する市民・事業者が増加している。

## ④まちの魅力に触れる仕掛けづくり

### 【目指す姿】

移動手段としてだけでなく、まちの魅力を発見したり、リフレッシュしたりと自転車に乗ること自体を楽しむ人が増えています。また、自転車に乗りたくなるような工夫をすることで、市民のみならず、自転車でまちを回遊する来訪者が増え、人が行き交いまちがにぎわっています。

### 【指標】

- ・サイクルスポーツやサイクルツーリズムなどに関する広報活動が市内外に発信されていて、自転車の楽しさをPRする取組が行われている。
- ・シェアサイクルの利用促進や新しい自転車利用の取組が進められ、市内外から自転車でまちを楽しむ人が増加している。
- ・移動手段としてだけでなく、自転車に乗ること自体を楽しむ市民が増加している。